

広報

7の9

2005
No. 620

すいすい、ぷかぷか。

町力ヌー教室(8月7日)

■カヌーの里(安原)では、ゆったりと流れる日野川や雄大な山並みなど、大自然を満喫しながらカヌーを楽しめます。

39人が新たなスタート

平成17年度 町成人式

久しぶりの再会を喜びあう

8月15日、「平成17年度町成人式」が開かれ、昭和60年

4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた39人が大人の仲間入りをしました。

文化センターで開かれた式典では、町長あいさつ、来賓祝辞に続いて、新成人が中学3年生のときの担任、安達才智さん（根雨）が激励の言葉を述べました。

安達さんは、「一生の基盤となる今の時期、自分の道を自分の力で選択して人生を充実させて欲しい」と話しました。

また、新成人代表として、田淵太一さん（三谷）と小山悠貴さん（下榎）がそれぞれあいさつ、田淵さんは「これからも生まれ育ったふるさとを愛し、社会に貢献したい」、小山さんは「今

は県外にいるが、将来また日野に帰ってきて一花咲かせたい」と決意を述べました。

式典の後には、有限会社地域未来代表取締役 杉原幹雄さん（安原）を講師に迎えて、「仕事をする、ということ」と題して記念講演が行われました。杉原さんは、現在の仕事に就くまでのいろいろな職業経験などを通して、「社会人になってすぐ

には自分が希望する仕事には就けないと思うが、今の自分に与えられている仕事の意味を見いだし、目的意識を持って仕事をして欲しい」と思いを語りました。

その後会場を開発センターに移して懇親会が開かれ、新成人は懐かしい学校給食を食べながら友達や恩師との再会を喜び合いました。





「いろんな経験を積んでほしい」と語る杉原幹雄さん



全員で町民憲章を唱和



恩師の安達才智さんからエール



懇親会は懐かしの味で



新成人の抱負を述べる田淵太一さん（写真左）と小山悠貴さん

出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会 根雨のまちなみを守る・育てる・伝える

かつて出雲街道の宿場町として賑わっていた根雨のまちには、その面影を今に伝える建物や旧跡が残っています。

「出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会」は、地域住民の手で根雨のまちなみを保存し、未来へ残そうと活動しています。



近藤家住宅

●今に残る宿場町の面影

根雨のまちは、江戸時代には根雨宿と呼ばれ、出雲街道の主要な宿場町として多くの旅人が往来していました。今も根雨の街道筋には、江戸期から明治・大正・昭和にかけて地域の産業・経済の中心となっていた近藤家の住宅をはじめ、本陣の門、祇園橋、歴史民俗資料館、旧根雨公会堂など、昔の面影を残す建物などが多く残っています。



本陣の門

●地域住民約40人で結成 まちなみの再生を図る

出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会(田貝英雄会長)は、失われつつある古き良き根雨のまちなみの魅力を活かし、地域住民の力でまちなみの再生を図ろうと、今年の3月に結成されました。

研究会は、根雨地区住民を中心とした約40人で結成されています。田貝会長は結成のきっかけについて、「日頃の町民同士の会話の中で、根雨のまちなみ保存ということが何度か話題にのぼっていたことがあり、それが自然とこのような流れになった」と語ります。

最初に取り組んだのは、地



町歴史民俗資料館

元の人でも現物を見ることのない近藤家の古文書類の展示で、6月に町図書館と日野総合事務所で行いました。

また、研究会は県の「地域のまちなみづくり自立支援事



さまざまな意見が出る「基本計画策定委員会」

業」の登録団体の認定を受け、「出雲街道根雨宿まちなみづくり構想」を作成し、さらに構想を実現するため、「まちなみづくり基本計画」を新たに作成することになっています。基本計画の検討のため、研究会の中に「基本計画策定委員会」を設置し、月1回会議を開いています。

●「まちなみづくり構想」

研究会が作成した「出雲街道根雨宿まちなみづくり構想」は、「歩きたくなる根雨のまちなみづくり」を目標として研究会が取り組んでいくための基本的な構想で、現在検討されている内容は次のとおりです。

出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会「まちなみづくり構想」

(1) 歩きたくなる街道の再生

歴史街道景観の維持・拡充
出雲街道の景観をつくる家屋や水路などを修復する場合、再生されるよう呼びかけ、誰もが歩いて情緒を感じる景観を維持していく。あわせて、まちなみ条例の制定やフア

サード（建築物の正面）改装助成にも取り組んでいく。

水路を活用した交流舞台の創出

出雲街道沿いを流れる水路を活用した小水力発電の導入を研究し、新しい歩行空間を作る。

(2) 交流の場の創出

近藤家住宅の修復

鳥取県西部地震により崩れかけた壁や、老朽化している屋根など、近藤家住宅の修復を行い、古文書などの貴重な資料を体感できる資料館として、また、地域内外との歴史・文化交流の拠点とする。

ミニギャラリーの創出

役場や総合事務所、根雨駅などのほか、宿場町を思わせる建物に近藤家古文書や根雨宿の現風景、古民具などを展示し、交流の拡大を図る。また、町内の金融機関が行っている「まちかど美術館」の支援も行う。

出雲街道をテーマにしたイベントの開催

まちなみを点検し、まちなみを自らつくり、まちなみへの愛情を育てるイベントを開催する。

(3) 案内・由来板の充実

根雨宿の歴史、史跡、名所などを紹介する由来板を設置する。

根雨のまちなみの主な建物

■近藤家住宅 江戸後期に建築。母屋と土蔵からなり、それを取り囲む土塀とあわせて、地域経済の中心であった近藤家の偉業を今に伝える。

本陣の門 参勤交代の際の本陣（宿泊所）とされていた梅林家の門で、旧根雨郵便局敷地内にあったものを現在の場所に移築している。

祇園橋 昭和8年、県道根雨新見線の祇園橋として架けられた。コンクリート造りだが、欄干の擬宝珠や、両端の石灯籠など、木造橋そのままの造りで根雨神社や板井原川の景観と見事に調和している。

■町歴史民俗資料館（旧根雨公会堂） 昭和15年、近藤家が根雨公会堂として町に寄付。周囲との調和を考えたモダンながらもシンプルな外観と、当時の最新文化の粋を集めた内部からなる。

日野町公舎 近藤家の分家のひとつ、出店近藤家が明治初年に建築し、のちに町が譲り受け町公舎としている。江戸時代の町屋の平面構造・形態を継承し、筋向いの近藤家住宅とともに、まちなみの重要な役割を担っている。

山陰合同銀行根雨支店 昭和4年に建築。まちなみの中でも異彩を放つ重厚な洋風建築である。

(4) ボランティアアガイドの養成と組織化

地域住民の誰もが「まちなみガイド」ができるよう、少しずつボランティアアガイドを養成していく。

(5) 出雲街道周辺の再生

オシドリの館の再生
来訪者のニーズに応じたオシドリの館の再生を研究し、利用者の拡大を図る。

地域活動と一体となった板井原川の再生
清流と親しむことができ、ホタルやカジガが生息する環境を整え、出雲街道と板井原川が一体となった環境をつくる。

●研究会のこれから

研究会は、この「まちなみづくり構想」の実現のための具体的な取り組み計画である「まちなみづくり基本計画」を10月に作成することになっています。

田貝会長は、これからの目標を、「ここにしかない貴重な歴史遺産の価値を知り、それ

をうまく活用してもっと元気な町にしたい。また、わかりやすく人に伝える活動に取り組み、多くの人でにぎわうまちにしていきたい」と語りました。

また、自分達ができることをやっていこうと、地元ボランティアと連携した清掃作業なども行っていきます。

「まちなみづくり」から、「新たなまちづくり」へ。地域住民の手によって、根雨のまちなみが生まれ変わるつとめています。みなさんも、身近なまちなみや景観の中で、守っていききたいもの、未来へ残していきたいものについて考えてみましょう。



祇園橋

「おねがい」「まちなみづくり」について、町民のみなさんのご意見がありましたら、会長 田貝英雄さん（根雨）または事務局長 池原和夫さん（根雨）までお寄せください。

あの教訓を忘れない。

「鳥取県西部地震から 5年フォーラム」開催

平成12年10月6日午後1時30分、鳥取県西部を震源とする地震が発生し、日野町では震度6強、マグニチュード7.3を記録しました。地震直後から消防団や住民の手によって救援活動などが行われ、幸いにも死者や火災の発生はありませんでしたが、負傷者は14人、全壊家屋129戸ほか全戸が被災、そのほか公共施設や道路、農林業、商工業などに大きな被害をもたらしました。また、自衛隊や県内外から駆けつけた延べ3,750人のボランティアなど多くの人びとの協力もあり、3年後の平成15年11月30日、地震からの復興が宣言されました。

鳥取県と日野町では、鳥取県西部地震から5年を迎える今年、住民、地域、行政が連携し、地震から得た教訓を活かすフォーラムを開催し、さまざまな取り組みの輪を広げます。

と き： **10月6日（木）** 午後1時25分～

と ころ：日野町文化センター ホール森の音楽隊（主会場）
山村開発センター（共催会場）

主 催：鳥取県、日野町

後 援：西部管内市町村

内 容：午後1時25分～午後1時50分

入場無料

オープニング（日野高校郷土芸能部による荒神神楽「八重垣能」、主催者あいさつ）

午後1時50分～午後2時10分 表彰（活発に防災活動を行っている個人・団体など）

午後2時10分～午後2時40分 基調講演「減災への心構えについて（仮題）」

講師：大阪市立大学教授 宮野道雄氏

午後2時45分～午後4時15分 座談会：【コーディネーター】鳥取県知事 片山善博氏

【パネリスト】黒坂地区自主防災会会長 福田和也氏、
日野ボランティア・ネットワーク 山下弘彦氏ほか

【コメンテーター】宮野道雄氏、新潟県川口町長 星野和久氏

その他：山村開発センターで各種団体などによる関連イベントを行います。

時間：午前10時～午後3時（予定）

西部地震仮想体験（起震車） パネル展示、防災グッズ展示、 救急・救護講習（20名程度） ラジオ生中継 ほか

問合せ：県庁防災危機管理課 電話 0857 26 7584

役場総務企画課 電話 72 0331

全町一斉防災訓練 10月2日（日）午前9時～

5年前の教訓を忘れず、災害に強いまちづくりをすすめるため、まちでは10月6日を「日野町防災の日」と位置づけ、防災訓練を行っています。

今年も10月2日（日）に「全町一斉防災訓練」を行います。

訓練の内容

10月2日（日）午前9時のサイレンを合図に、住民の皆さんは各自自治会で決められた仮避難所に避難してください。

問合せ 役場総務企画課（電話 72-0331）

「あの日」から5年。



交流の記念にみんなでニコリ



白熱する練習試合

サッカーを通じて交流の輪を 根雨SC・西宮少年サッカークラブ交流

8月6日、7日の2日間、根雨SCと西宮少年サッカークラブ（西宮市）の交流会が開かれました。

これは、関西地区日野町出身者懇談会「ひの郷会」会員の方の発案で毎年夏に行われているもので、今年で3回目になります。

1日目は、根雨小学校グラウンドで交流セレモニーと練習試合を行い、炎天下の中お互いの技術を磨きました。その後リバーサイドひので交流・懇親会を開き、バーベキューと花火でチーム同士の交流を図りました。

リバーサイドひのに宿泊した西宮の子どもたちは、翌朝金持神社を参拝、サッカーの必勝を祈願した後カヌーの里でカヌー体験をするなど、日野町の自然・文化を満喫しました。

西宮サッカークラブ保護者代表の岡田善巳さんは、「日野町は自然が多く、空気もいい。子どもたちには、この交流を通して、自然の大切さなどを考えてもらいたいし、今後も交流を続けたいです」と感想を語りました。

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

外で食べるとおいしいね

「野外炊飯教室」

野外で炊事をするので子どもたちの生きる力を育てようと、8月6日、鶴の池キャンプ場で、野外炊飯教室（町公民館、町子ども居場所づくり実行委員会主催）が開かれ、夏休み中の小学生と、民生児童委員、ボランティアなど計18人が参加しました。

子どもたちは、かまど作りから火起こし、飯ごうを使っての炊飯まで大人の指導を受けながら挑戦しました。

また、日野町産の夏野菜とイノシシ肉を使ったカレー作りも体験し、慣れない手つきながらもおいしいカレーが出来上がりました。

カレーライスは全員で試食し、子どもたちは「穴を掘ったり火を起こしたりは暑かったけど、おいしいカレーができてよかった」と喜んでいました。



おいしいカレーになあれ！

みんなが使う道だから

8月10日「道の日」明地峠清掃



公園の茂みの中にもごみがたくさん

8月10日の「道の日」にちなんで、同日、明地峠の清掃活動が行われました。

この作業には、町建設業協会と町商工会婦人部のボランティアと役員職員の約30人が参加し、明地トンネル付近の国道180号線や展望駐車場のごみ拾いなどを行いました。

【おねがい】道路わきや山中などに粗大ごみを放置する「不法投棄」が町内で相次いで発生しています。不法投棄すると5年以下の懲役または1千万円以下の罰金が科せられます。不法投棄を発見した時は、警察または役場産業振興課（電話72 2101）まで通報してください。

ジゲを花いっぱい

津地子ども会活動



明るい環境をつくろう！

地域を花で飾り、美しくよつと、津地子ども会が8月13日、「花いっぱい活動」を行いました。

津地自治会館に集まった子ども達と保護者は、プランターにペゴニアなどを植え、津地の全家庭に配布しました。参加した保護者は、「花のある家は、その世話をする人がいるということ、で犯罪被害に遭いにくいという話もあります。この活動が地域の防犯にも役立てば」と語りました。

まちの遺産を忘れない

黒坂要害山看板取り付け

歴史あるまちの遺産を守ろうと、8月19日、黒坂要害山に案内看板を取り付けるボランティア作業が行われました。

黒坂の要害山は、峰に2段の平地があり、豪族日野氏の居城であったとも伝えられる山で、かつて敵を防ぐ岩とさ（とり）で、かたて敵を防ぐ岩とさ（とり）でさされていました。

看板は黒坂の宇田春男さんの手づくりで、要害山への登り口に設置されました。宇田さんは「子どもの頃、要害山にはよく登っていましたが、60年ぶりに登ってみると、平らだった頂上に大きなヒノキが生えていて驚いた」と笑顔で話していました。



木製のしっかりとした造り



ボランティアの宇田さん

息のあった演奏を披露

日野中「サマーコンサート」



迫力ある力強いサウンド

8月21日、「日野中学校吹奏楽部サマーコンサート」が、町文化センターで開かれました。

日野中学校吹奏楽部は、部員15人の少人数ながら、8月の県コンクールで金賞を受賞するなど活躍しています。

コンサートでは、受賞曲のほか数曲を披露したほか、「出雲高校OBアンサンブル4512」をゲストに迎え、「シング・シング・シング」、「演歌メドレー」を合同演奏しました。その迫力ある演奏に、聴衆からは大きな拍手が贈られました。

楽しく健康づくり

太極拳教室

総合型地域スポーツクラブ「Do・スポーツ」主催の「太極拳教室」が開発センターで開かれています。

太極拳は、中国拳法のひとつですが、その流れるようなゆったりとした動きは健康づくりに良いといわれ、国内でも多くの愛好者がいます。

Do・スポーツでは、米子市から講師を招いて12月6日までの毎週火曜日、開発センターで教室を開いています。参加希望の方は、Do・スポーツ事務局（タカハシスポーツ 電話722323）までご連絡ください。



呼吸を整えながらポーズをとる

きれいな鵜の池でキャンプしよう！

鵜の池湖畔で「みんなでボラキャンプ」



道路わきのごみも見逃さないよ



おごそかにキャンプファイヤー

子供たちに自然環境の大切さとキャンプを一緒に味わってもらおうと、8月20日、21日、「みんなでボラキャンプ」が鵜の池キャンプ場で開かれました。

「ボラキャンプ」とは、清掃活動（ボランティア）とキャンプを組み合わせたもので、今年で4回目になります。

今回は子どもと保護者、ボランティアスタッフ合わせて60人が参加しました。

参加した人たちは、鵜の池湖畔のごみ拾いを2班に分かれて行い、親子で協力し合いながら、ごみ袋いっぱいにごみを集めることができました。

その後は、テントの設営や飯ごう炊飯などは子どもたち自身の手で行いました。また、キャンプファイヤーや花火大会、肝だめしなど、ボランティア活動だけでなく、キャンプのだいご味も十分に味わいました。

ふるさと再発見

「ふるさと教室」



因幡二十士の遺品の説明を聞く（泉龍寺）

日野町の歴史や産業を学ぶことでふるさとを見直してもらおうと、8月25日「ふるさと教室」が開かれ、町内の小学5、6年生が参加しました。

子供たちは、講師の町歴史研修会の川上護さん、牧智也さんからまちの歴史の説明を受けながら、菅沢ダム、泉龍寺、クリーンセンターくぬぎの森などを見学し、自分が生まれ育った日野町について改めて考え直しました。

安らぎの空間と音楽

「ナイト・トレイン・ライブ」



甘い歌声で観客を魅了する安達さん

まちのみなさんに安らぎの空間を提供したいと、「ナイト・トレイン・ライブ」が8月27日、「軽食・喫茶シュッポポ（貝原）」で開かれました。

ライブに出演したのは、安達知幸さん（根雨）と、地元で活躍するバンド「ハザード」で、オリジナル曲などを披露。客席はテーブルのキャンドルの灯りと心に響く音楽で満たされました。

安達さんは「歌を聞かせるだけでなく、食事やキャンドルの灯りなども含めた安らぎの空間作りができてうれしい。これから毎月1回のペースで続けていきます」と、抱負を語りました。

アユ釣り自慢集合

「鮎チームバトル」



大きく育ったアユが次々と

アユ釣りの腕を競う「鮎チームバトル2005中国大会（ダイワ精工（株）主催）」が、8月28日、リバーサイドひの周辺の日野川で開かれました。

大会では、西日本各地から約150人の選手が参加し、5人1組のチームで釣れたアユの数を競う団体戦や個人戦が行われました。

大会で釣れたアユは、おしどり荘とかじか荘に寄贈されました。

「神話とたたら」の里を訪ねる旅」参加者募集

紅葉を楽しみながら、奥日野・奥出雲に隠された「神話・伝承」の地や、「たたら」に関わりが深い里を訪ねます。



ヤマタノオロチ神話（船通山）

日時 11月13日(日)
午前8時30分～午後4時30分
コース 米子駅～日南町美術館～日南町印賀地区～金屋子神話民俗館～和鋼博物館
(バス乗車場所：日野総合事務所)
定員 80人(先着順)
募集期間 10月11日(火)～21日(金)
参加費 3千円(昼食代・入館料など)
申込方法 電話またはファクシミリのいずれかでお申込む

ださい。

申込・問合せ 日野郡広域観光推進協議会 日野川の源流と流域を守る会
(電話) 2083

(ファクシミリ) 2072

10月は行政書士制度強調月間「行政書士会無料相談」

県行政書士会西部支所では、次のとおり無料相談を行います。遺産相談(分割協議)、各種契約、許認可手続、農地転用、土地境界紛争など、なんでも相談に応じますのでお気軽にお出かけください。
10月1日(土)
午前10時～午後3時
ところ 米子駅前サテイ4階(男女共同参画センター会議室)
なお、毎月第1土曜日、午前10時30分～午後3時、同会場で無料相談を行っています。問合せ 県行政書士会西部支部(電話) 0859 26 4541

第3回 とつてもおいしい日野川源流米コンテスト

日野郡産米のおいしさの探求、おいしい米の生産条件の

把握や販売促進のPRのため米の食味コンテストを開きます。

【コンテスト出品米募集要領】

出品米 日野郡産コシヒカリ

(玄米)

募集期間 10月21日(金)まで

募集方法 出品米3合を、出品票に記入のうえ、役場産業振興課、またはJA日野町支所まで持参してください。

(出品票は産業振興課、JA日野町支所にあります)

表彰 グランドチャンピオン(1名)、最優秀賞、優秀賞、優良賞。食味分析の結果により入賞米を選抜、最優秀賞の中から米食味鑑定士等が官能試験を行い、グランドチャンピオンを決定します。入賞者には賞状、賞品を授与します。結果発表 11月4日(金)

その他 上位入賞米は、試食会用として1升程度を買い取らせていただきます。

主催 日野川源流米コンテスト実行委員会

問合せ 実行委員会事務局(日野総合事務所農林局 農業振興課内)担当 岸田

(電話) 2006

文藝寄稿 長谷部信連物語

平家物語巻四より「信連合戦の事」現代語訳

訳：イッチュウコウ(ひの郷会会員)

(2) 頼政の使者がやって来る

ここは以仁王の御所。5月15日の月が、雲間隠れに庭を照らしています。御所は三条高倉にあつたので、以仁王のことを高倉宮、または単に宮とも呼びびます。宮は雲間の月を眺め、これから何が起るかなと思つてもみませんでした。

そこへ、源三位入道頼政の使者だという者が手紙を持って急いでやって来ました。宮の側近の宗信がこれを受け取り、宮の御前に来て開いてみると、「君の計画が早くも発覚しました。君を捕らえて土佐(現在の高知県)の畑へ流すことに決まり、いま検非違使庁の役人どもが長官の命令書を持って押し寄せて参りますぞ。君は急いで御所を出られて、三井寺へお入りください。私も

追つて参ります。」と書いてあります。

宮は、役人どもが迎えに来るとの知らせを見て、「一体どうしたらよからうか」と思い悩みました。そこへ宮の近侍の長谷部信連が進み出て、「なんといいことはございませぬ。女房姿に変装してお出になるのが良いでしょう。」と申し上げました。

宮は、「それが良からう。」と髪をとき乱し女性用の着物を重ね着して女房風に変装し、さらに市女笠をかぶり、顔が隠れるようにしました。

宗信が唐傘を持って供をし、鶴丸という少年が、宮の着替えや日用品を入れた袋を首にかけてそれに従いました。まるで、どこかのお屋敷に仕える侍が女性を迎えに来て連れ立って出かけていくような様子です。

(来月号に続く)



ひのっこ保育所 子育て支援室では、保育所に入所していない子どもたちを迎えて、毎週水曜日、午前9時30分から2時間、親子で楽しく遊んでいます。

朝・夕が涼しくなり、秋の気配が深まってきました。

夏の間みんな日焼けして、元気な笑顔を見せてくれます。これからは外が気持ちのいい季節になりますね。広い園庭を走ったり、すべり台、ジャングルジム、ブランコや砂場で遊びましょう！

10月19日（水）は、町内の保育所、小中学校、高校の研修会がありますので、支援室はお休みとさせていただきます。

連絡先 ひのっこ保育所
担当 音田（電話 72 - 0238）

■ 10月の予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

印が実施日です

■ ハローワークからのお知らせ

若者の就職を応援しています。
フリーターからの脱出を!

ハローワークでは、常用就職をめざすフリーターの方のお手伝いをしています。

このようなことで悩んでいませんか？

どうも就職するのに勇気がでない。 就職するにはどんな技術・技能が必要なの？ どんな企業があるの？ うまく履歴書が書けない 面接が苦手 困っています 就職しても仕事や人間関係がうまく行かろうか...など

その支援策として、次のことを行っています。

★トライアル雇用：企業に短期間（原則3ヶ月間）雇ってもらい、仕事を覚えたり、職場の雰囲気慣れていただきます。その後本採用も可能。

★若年者就職基礎講座：企業が求める能力を中心に、就職に必要な基礎的なことを身につける講座です。

★Let's 社会人養成訓練：パソコンの操作・知識を学習し1ヶ月の企業実習を行います。

どうぞお気軽にご相談ください。

支援窓口はこちら

米子公共職業安定所根雨出張所（ハローワーク根雨）
電話 72 - 0065

平成17年
国勢調査にご協力ください。



10月1日現在で全国一斉に実施します。各世帯と世帯員についての17項目を調査します。各戸に調査員が訪問して調査票を配布し、各戸で調査票に記入していただいた後、再び調査員が回収します。

こころの散歩道
日野町俳句同好会 選

峡深く守る美田や稲の花（講師）谷 悦子
初茗荷厨に淡き光添え 安達つるゑ
同胞と賑やかにして送り盆 荒木 習子
蝉しぐれ夫に心経供へけり 勝瀬 京子
霊迎え弟よ孫が生れたぞ 金川 昭子
新涼とおぼしきものを肌を知る 川上 文子
県境や出雲の風は涼しかり 久城 霞溪
門川に灯影ゆらして魂迎ふ 徳本千鶴子
万緑の狭間に遠く日本海 真壁富貴枝
(五十音順)



TOKU5

ジャズコンサート

10月13日(木)

19:30開演(19:00開場)

入場料: 一般前売 2,500円

高校生以下 1,500円

(当日はいずれも 500円増)

今大人気の男性ジャズボーカリスト&フリーゲルホーンプレイヤーTOKUを中心としたジャズクインテットによるコンサート。3年ぶり2度目の来町です。ぜひお越しください!

主催: TOKU5ジャズコンサート実行委員会

子どものためのクラシックコンサート

10月21日(金) 14:00 ~ 15:30 入場無料

出演: 東京アーティストツ合奏団

木のおもちゃづくり

10月30日(日)

10:00 ~ 15:00

図書館おはなし会

10月15日(土)

10:00 ~

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月~金 午前9時30分~午後6時

土・日 午前9時~午後5時

カレンダー

○印が休館日です

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館の展示コーナー

鳥取県西部地震から5年

ボランティア活動写真展

10月1日(土)~9日(日)

かかあ工房

レザークラフト(皮革工芸)作品展

10月12日(水)~24日(月)

県西部市町村で構成するリサイクルプラザでは、循環型社会を目指し、リサイクルの推進を図ろうと、10月9日(日)に「リサイクルフェア2005」を開きます。今回のテーマは、「すすめよう!リサイクル」はじめよう4R運動」です。4Rとは、Refuse(ごみを発生源で断つ)、Reduce(ごみを減らす)、Reuse(再利用する)、Recycle(資源として再利用する)の頭文字、4つの



めざそう循環型社会

すすめよう!リサイクル

リサイクルフェア2005

日時 10月9日(日)

午前9時~午後3時

場所 リサイクルプラザ(伯耆町口別所)

エコスラグセンター(伯耆町岸本字大成)

「R」のことで、この4Rを守ることでリサイクルを進めるのが今回の目標です。当日は、家庭から回収された鉄、アルミ、ガラス、ペットボトルなどの再生過程や再生製品の展示、リサイクルプラザとエコスラグセンターの施設見学会が行われます。そのほか、牛乳パックを原料にして紙をつくる「紙すき体験」、使われなくなったガラス製品を再利用する「ガラスボトルクラフト」などの体験コーナーや家電品中古市、古本市、フリーマーケットなどたくさんさんの催しがあります。どうぞお誘いあわせご来場ください。

10月 ぐらしのカレンダー

OCTOBER (神無月)



1 土	国勢調査期日
2 日	全町一斉防災訓練 午前9時～
3 月	不燃・資源ごみの収集日(黒坂・菅福地区)
4 火	乳幼児相談、1歳3ヶ月歯科相談 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
5 水	心配ごと相談、子育て・高齢者生活相談 開発センター、老人福祉センター 午後1時～午後3時
	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時
	発泡・蛍光管の収集日(1班)
6 木	年金相談 開発センター 午前10時～正午、午後1時～午後3時
	発泡・蛍光管の収集日(2班)
	県総合防災訓練(西部地区一円)
	鳥取県西部地震から5年フォーラム 文化センター 開発センター 午後1時25分～
7 金	発泡・蛍光管の収集日(3班)
8 土	
9 日	滝山公園紅葉マツタケまつり 滝山公園 午前10時～
10 月	体育の日(可燃ごみは通常どおり収集します)
11 火	可燃粗大ごみの収集日(黒坂・菅福地区)
12 水	発泡・蛍光管の収集日(4班)
13 木	不要犬・猫引き取り日 日野保健所
	発泡・蛍光管の収集日(5班)
14 金	発泡・蛍光管の収集日(6班)
15 土	行政相談 開発センター 午前9時～正午
16 日	
17 月	不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区)

18 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
19 水	発泡・蛍光管の収集日(7班)
20 木	発泡・蛍光管の収集日(8班)
21 金	発泡・蛍光管の収集日(9班)
22 土	
23 日	
24 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
25 火	乳がん、甲状腺がん、子宮がん検診 開発センター 受付:午後1時～午後2時
	可燃粗大ごみの収集日(根雨・日野地区)
26 水	
27 木	不要犬・猫引き取り日 日野保健所
28 金	1歳6ヶ月児、2歳児健診 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
29 土	生きいき"ひの"ふれあい祭り 役場前ほか 午前9時～午後4時
30 日	生きいき"ひの"ふれあい祭り 役場前ほか 午前9時～午後3時
31 月	町県民税3期分、国民健康保険税4期分、 介護保険料4期分納期限
	古紙の収集日(根雨・日野地区)

発売中! 鳥取県の総合情報誌



鳥取NOW(第67号)

巻頭特集「住めば都のよくばりライフ」心豊かな鳥取暮らしそれぞれ

特集「妖怪の集う『クニ』とっとり」

1冊300円 最寄の書店
または役場総務企画課で購入
できます。

直	総務企画課	72	0331	住民課	72	0333
通	産業振興課	72	2101	黒坂支所	74	0211
電	農業委員会	72	2103	教育委員会	72	2107
話	健康福祉センター	72	0334	介護支援センター	72	1852
	下履集会所	72	1191	夜間・休日	72	0331

出納室	72	2105	健康福祉課	72	0334
公民館	74	0212	議会事務局	72	0335
文化センター	72	1300	給食センター	72	1167
ひのっこ保育所	72	0238	黒坂保育所	74	0225



ピクアツブ ひろ



黒坂納涼まつり

涼風の中、にぎやかに。



8月16日、お盆恒例の「黒坂納涼まつり」が開かれました。

夜店がずらりと並んだ黒坂小学校校庭では、ゲームや演芸大会が行われました。演芸大会では、児童による傘踊りや「鳥取よさこい踊り子隊」による、躍動感あふれるよさこい踊りが披露されました。

また、200発の花火が夜空を染めあげ、祭りの雰囲気は最高潮に達しました。

祭りの最後は、やぐらを囲んでの全体踊りで今年の祭りを華やかに締めくくりました。





町食生活改善推進協議会員さん **料理** オススメ

彩りと歯ごたえが楽しいサラダ。
いろんな形のマカロニで作ってみよう！



マカロニの豆サラダ

1人分栄養量

- ▶エネルギー 203kcal ▶タンパク質 8.3g
- ▶脂質 6.6g ▶塩分 1.0g

【材料】 4人分

- マカロニ：100g
- 混合豆（ゆでたもの）：100g
- スイートコーン：小1缶
- ロースハム（みじん切り）：4枚
- フレンチドレッシング：大さじ5
- サラダ菜：4枚

【作り方】

- ①マカロニは表示通りゆでて水気をよく切り、大さじ1のドレッシングをふる。
- ②ボウルに、豆とコーン、ロースハムを入れ、残りのドレッシングで和える。
- ③器にサラダ菜をひき、を盛り付ける。



「ラジオ体操1、2、3、上手でしょ」
撮影 遠藤隆夫さん（岡山県英田郡）

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田（電話72 0271）

「イチヨウ羽根が少しずつ見えてきましたよ」これは岩手県二戸市からの情報です。オスの羽換えの状況がインターネットを通して刻々と伝わってきます。愛鳥家の協力によって各地の様子を知ることができます。わたしたちも日野町のオシドリを全国に発信しています。HP「オシドリの住む町へ」
<http://www.enjoy.ne.jp/oshidori/>
もつすべ5万ヒット！ぜひ「愛読を。」

全国に情報発信

オシドリ

VOL. 91



編集後記

今年の夏も暑かったですねー。クーラーの無い我が部屋は、網戸にしておけば結構涼しくなるんですが、そうすると隙間からお客が入っていらっしやるのです。カエル様、ヤモリ様、ナメクジ様。小さな生き物が苦手な私、お帰りいただくだけでもひと苦勞です。そうした夏の戦い(?)も、田舎ならではのしょうね。秋になればちょっとさびし...くなるかなあ。(i)

おくやみ
「冥福をお祈りします」

山岡 春恵	9月	93歳	黒坂
矢田貝年男	8月	78歳	黒坂

(氏名) (年齢) (住所)

赤ちゃん誕生
おめでと〜ございます

久保 友哉	8月	男の子	福長
住友 美雨	9月	養育女の子	野田

(出生児) (保護者) (性別) (住所)

届出 8月8日〜9月11日 敬称略

8月31日現在

わたしのまち

(前月比)

人口	4,301人 (-6)
男性	2,025人 (+1)
女性	2,276人 (-7)
世帯	1,555戸 (+1)



不思議な伝説を生み出す、鵜の池の神秘的な光景

鵜の池にまつわる2つの伝説

(「日野町誌」より)

お藤の伝説

昔、榎村に卯野左内という浪人が住んでいた。その娘のお藤が友達と池のほとりでワラビ狩りをしていたところ、誤ってこの池に落ちて死んでしまった。賢い器量よしだったお藤の死を嘆いて村中の者が泣いたが、その時左内の妻が言うには、自分は前の晩不思議な夢を見たという。夢の中で、お藤は白い顔をして「自分は今下界に生まれてきているけれども、元来天上の神としていなくてはならないものだ」と言って姿を消したのだという。

この奇妙な話は、お藤が池に落ちたとき、真っ青な池の上に雪のような顔をあげて、岸辺の友達に、にっこり笑って沈んでいった最期の姿と似通うものがあるので、とうとうお藤を神様として祀るようになったのだという。

大蛇の伝説

昔、黒坂の長者の家に娘がいた。

いつの頃からかその娘のもとに一人の美男子が訪れるようになったが、玄関に脱いだ草履はいつも濡れていた。

村人たちは、この男がいったいどこから来るのだろうかと思いを抱き、あるとき濡れた草履に糸をつけてあとを追っていったところ、なんと鵜の池から来ていることが分かった。

ところがそれ以来、この男は全く姿を見せなくなり、長者の一人娘も、やがて池に身を投げて死んでしまった。

この男は鵜の池に棲む大蛇であったといわれ、長者の家ではたたりを恐れてそれ以来家紋を変えたという。

●広報ひの9月号 NO. 620

●発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

●編集 総務企画課 ●印刷 株式会社高下印刷

●ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ●電子メール info@town.hino.tottori.jp